

次世代自動車センター浜松 活動レポート Vol. 306

■ 自動車工学関連講座（中堅技術者向け Web セミナー）

第3回「どうやって教える？失敗から学ぶなぜなぜ分析の教育方法」 （会員限定）

次世代自動車センター浜松では、会員企業の皆様から希望の多い中堅社員向け社内教育として、汎用的なテーマを取り上げ、自動車工学関連講座の一環として、中堅技術者向け Web セミナーを開催しています。

本年度も、多くの社員の皆さんが自社内で受講できる機会を企業力アップにご活用いただくため、カイゼンベース社を講師に、昨年度から内容も見直し、6回連続の Web セミナーとして順次実施しています。

今回は、第3回として「どうやって教える？失敗から学ぶなぜなぜ分析の教育方法」を開催しました。

■ 日 時：2025年7月17日（木）13時30分～15時30分

■ 場 所：Web形式

■ 参加者：71社／484名

公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構
2025年度カイゼンベースWEBセミナー

KAIZEN BASE

どうやって教える？
失敗例から学ぶなぜなぜ分析の教え方

カイゼンベース株式会社
〒150-0023 東京都新宿区西新宿9丁目12-1 パークエストOF
TEL: 03-6368-5520（受付時間：10:00～17:00）
FAX: 03-4586-7148
Email: k@kaizenbase.com

なぜなぜ分析の基礎知識 **KAIZEN BASE**

なぜなぜ分析の狙い
そんな状態にならないように！

“なぜなぜ分析”により、モノゴトが発生する原因を
理屈立てて、**全員が納得がいく形で解決**する

それを会社の知恵として
積み上げていく！

そんな
なぜなぜ分析を
目指そう！

なぜなぜ分析の基礎知識 **KAIZEN BASE**

なぜなぜ分析の2つのアプローチ

あるべき姿からの
アプローチ

あるべき姿とその問題になって
いることを比較し、真因を探る
アプローチ

現象が比較的わかりやすく、
犯人が単独犯に近い場合に
適している

原理原則からの
アプローチ

問題が発生する部分に焦点を当て
て、それが発生する**原理原則**から
真因を探るアプローチ

現象の発生メカニズムが
比較的分かりにくく、
犯人が複数犯の場合に適している

なぜなぜ分析の基礎知識 **KAIZEN BASE**

原理原則からのアプローチ

車がコーナーでスリップしたのはなぜ？

次の「なぜなぜ分析」の空欄を埋めてください。

なぜ1

タイヤの摩擦抵抗以上の
遠心力が車に掛
かっていた

なぜ2

遠心力が
大きかった

摩擦抵抗が
小さかった

なぜ3

スピードを出し過ぎ
ていた

タイヤの溝が磨り
減っていた

「原理原則で考える」+「MECEでなぜを進めていく」
この2つが身につけていくと分析精度は一気に向上する！

なぜなぜ分析の基礎知識 **KAIZEN BASE**

なぜなぜ分析の7つのポイント

- 文章を簡潔に書く！
- 事象を混在させない！
- 逆から読んで意味が通っているか確認する！
- 再発防止に繋がるまで「なぜ」を繰り返す！
- 本質からズレた分析をしない！
- 人間の意識・心理面への原因追究はしない！
- 「悪い」という言葉は使わない！

礼儀作法や基本を
疎かにしないこと

なぜなぜ分析の基礎知識 **KAIZEN BASE**

なぜなぜ分析を正しく行うためには

なぜなぜ分析入門で身につけたい2つのこと
（今日これだけはちゃんと覚えて帰る！）

なぜなぜのスタート
（事象）を的確に挙
げられるようになる

なぜ1を的確に出せ
るようになる（コツ
を掴む）

【参加者の声】

- なぜなぜ分析の目的、考え方、ポイントやアプローチ方法などとてもわかりやすく参考になった。練習問題も答えの解説がわかりやすく、とてもためになった。
- なぜなぜ分析について、再発防止を目的としていることは理解しているつもりでいたが、実際に行ってみると真因を決めつけてしまっている、本質からズレてしまっているなど、本講義で学んだダメな例に当てはまっていた。実際には上手く分析できていないことが再認識できるきっかけとなり、それを改善するにはどのような考え方をすればいいのか、よくわかる講義内容だった。
- 業務を進めるうえで、常に改善を意識することが求められていると思う。その中で「なぜなぜ分析」は、問題の根本原因を明確にするための有効な手法であると感じた。表面的な対処ではなく、本質的な解決につながる点が非常に重要であると感じた。
- なぜ1の重要性、7つのポイント、適切なスタート地点、A or NOTの使い分け等の基礎的な考え方を学ぶことができた。
- なぜなぜ分析をする機会自体は多かったが、あまり納得のいく再発防止策を立てられないことが多かった。今回、どのような観点で振り返ればいいのかを知ることができた。
- 問題が発生した時、現場に行き現物を見て、自分の目で現実を確かめるのが大事ということが参考になった。
- なぜなぜ分析は各社一般的に実施されていると思うが、適切ではないやり方では再発防止にならないことを理解した。A or NOT、MECEの観点で分析することで、漏れを無くすことができるという理解した。今後の業務で役立てていきたい。
- なぜなぜ解析では、なぜ1でつまづいてしまうことが多く、真因までの解析不足が多々あった。MECEを使いA or NOTで物事を考えていけば真因をつかめられることがわかり大変参考になった。
- なぜなぜ分析について実際の運用方法を深く学んだことがなかったため、今回の講座はありがたかった。用意いただいた問題を解いていく中で、少しずつ理解を深められたが運用できるレベルには程遠く、今後、積極的に使用し、皆でスキルアップさせていきたい。
- 弊社では、不具合改善に関する知識が十分でないことが課題となっており、真の原因の追究や再発防止策の策定が十分に進んでいないケースが多く見受けられた。今回の講義ではなぜなぜ分析の進め方について、具体例を交えて丁寧に説明いただき理解を深めることができた。実務に直結する非常に有用な内容であり、今後の業務にぜひ活かしていきたい。
- なぜなぜ分析の取り組み方、重要ポイントがわかりやすかった。練習問題で、実際に考えることができた。NG事例の後に回答が示されたので、理解しやすかった。
- なぜなぜ分析を正しく行うためにはスタートの事象を的確に挙げられることと、なぜ1を的確に出せるようになることが必要だと感じた。
- 問題が発生した時、何か改善を行う時に重要だという認識はあったが、今まで自分が行っていたなぜなぜ分析では不十分であることがわかった。正しい分析ができるように実際に現場で経験を積んでいきたい。
- 講義の中で特に注目した点としては、あるべき姿からのアプローチと、原理原則からのアプローチが特に印象に残った。なぜなぜを進める中でいろいろなことを考えていると、最終的な着地点がおかしい時もある。ロジカルシンキングを鍛えることで、1つ1つの「なぜ」が理論立てられていることにも意識を向けていきたい。
- 言葉の意味の重要性、原理・原則の観点を基本とした考え方（MECE）を改めて勉強することができ、なぜなぜ分析の理解が深まった。
- 実際の失敗事例を通して、なぜなぜ分析を“教える側の立場”で捉えることができ、大変参考になった。なぜなぜ分析の基本的な考え方も改めて整理でき、有用な内容だった。